

タバコアオムシの幼虫各峯期の摂食量に就いて

本田 稔 郎

鹿児島煙草試験場

Honda, T. On the rations in the larval instars of tobacco bud-worm "tabako-aomushi"

タバコアオムシの防除の基礎資料を得る為に、昭和22年以降実験室内で行った飼育成績は、次の如くである。

1) 卵期間及び幼虫期間は第1表の如くであつた。

第1表 卵期間及び幼虫期間

調査時期	給餌品種	供試虫数	卵期間	幼虫摂食期間						幼虫潜在期間	室内平均気温(C°)
				I	II	III	IV	V	計		
昭和23年 5月上旬～5月下旬	ブライトエロー	27	5.0	3.7	2.4	2.4	3.6	4.6	16.7	3.5	21.8
	鹿児島丸	28	5.0	3.0	2.1	2.6	4.0	4.3	16.0	3.3	
昭和24年 5月中旬～6月上旬	ブライトエロー	27	5.0	3.0	2.1	2.6	4.0	4.3	16.0	3.9	22.5
	鹿児島丸	25	5.0	3.0	2.1	2.3	3.9	3.8	15.1	3.6	
昭和22年 7月中旬～7月下旬	ブライトエロー	10	3.0	3.0	1.0	1.9	2.1	3.9	11.9	—	29.6
	鹿児島丸	5	3.0	3.0	1.0	1.8	2.8	3.0	11.6	—	

(註) 昭和22年の幼虫潜在期間は、データを失つた。

2) 各峯期の摂食量を、総摂食量に対する比率で示すと、次表の通りである。

第2表 各峯期の摂食量の比率

調査時期	給餌品種	I	II	III	IV	V	合計
昭和24年 5月中旬～6月上旬	ブライトエロー	0.2	0.3	2.1	10.3	87.1	100.0
	鹿児島丸	0.2	0.3	2.5	12.0	85.0	100.0
昭和22年 7月中旬～7月下旬	ブライトエロー	0.2	0.4	1.7	11.2	86.5	100.0
	鹿児島丸	0.1	0.4	2.0	16.0	81.5	100.0

即ち本虫は、第4峯～第5峯に総摂食量の97%内外を摂食する。以上の結果から、鹿児島地方では該虫に対する薬剤散布は心立期(5月上旬)から発蕾期(5月下旬～6月上旬)迄は、10ないし14日毎に、心立期(6

月上旬)から、収穫期(7月上旬～中旬)迄は、7日ないし10日毎に行えば可いのではないかと考える。然し之は大体の目安であつて、該虫の発生は年に依つて相当異なる為、之も考慮に入れて行わねばならない。